
書 評

布目順郎著作集 (全4巻)

桂書房

(第1巻 438頁, 第2巻 506頁)
(第3巻 456頁, 第4巻 521頁) 1999年6月発行 定価48,000円 (本体)

佐藤昌憲

BOOK REVIEW

Complete Works of Prof. Junro NUNOME (four volumes)

Masanori SATO

布目順郎氏は昭和26年から53年まで京都工芸繊維大学で繊維学部家蚕生理学講座の教授を務められたが、その一方では古代の絹織物にも興味を持たれ、日本の出土遺物としての繊維品を極めて広範囲に調査研究された。その後、対象を中国、韓国など東アジア地域の出土繊維品にも拡大して調査を行ない、日本の古代織物研究の第一人者となられた。大学を定年退職後もさらに研究を続け、現在までに約200編に近い論文、調査報告などを執筆され、それらを纏めた著書も多数出版され、学会賞なども受賞されている。

今回出版された四巻からなる布目順郎著作集は、氏のライフワークとして総合的にそれらの成果をまとめたものであり、内容も遺物の直接的な調査結果の集大成から、織物製作技法、歴史、考古学、衣服史など、関連する広い諸分野についての著者の学識と考察を披露されている。

筆者は、この書物について編集委員から書評を依頼されたが、上に記したように内容が極めて多岐にわたっているので、すべてについて紹介する技量を持ち合わせていない。筆者は古代の出土繊維品について、機器分析法による繊維材質と天然染料の研究を行なっているので、関連する事柄についてのみ紹介させていただく。

筆者が触れなかった分野に関しては、また他の適切な方が書評を書かれることを希望する。

まずこの本の章立ては次の通りである。

- 第1巻 I. 調査研究の方法
II. 綜説 シルクの考古学
III. 日本
A 縄文時代
B 弥生時代

- 第2巻 C 古墳時代
D 奈良時代以降
E (表題なし)

- 第3巻 IV. 中国
A 石器時代
B 殷周時代
C 漢～南北朝時代
D 唐代
E (表題なし)
V. シルクロード

- 第4巻 VI. (表題なし)
VII. 付表・付図
VIII. 布目順郎著作目録
IX. 著者略年譜

この著作集を通して、日本の各時代、各地域に亘る多数の資料が、一人の研究者により、同じ手法で総合的に研究されていることは、大変貴重である。当時の簡便で確実な方法として光学顕微鏡を用い、織組織、織密度、繊維の断面形状などの諸物性から統計学的手法を用いた数値の比較考察を行ない、資料相互の類似点と相違点を明らかにしている。さらに一本の繊維の断面形状は、絹や麻類など繊維の材質毎の特色をもっとも良く表すものであり、氏は特殊な付属装置を付けた顕微鏡の視野に繊維断面像を映し、紙の上にその形状をトレースして書き写す方法を用いている。その像を多数集めて、四角い枠の中に任意の方向に配置し、適当に充填したものを説明に用いた。この図の意味を専門外の人が直感的に理解するのは少し難しいかもしれない。氏の報告にはいつも記載されているおなじみの図形であるが、その後、他の研究者によって同様な図を作成した報告例を筆者は寡聞にして知らない。この方法が広く普及しなかったのは惜しいことである。今日のようなコンピュータ全盛時代であればかえって誰でも容易に使用できるデータ収集ソフトができていたかも知れない。

さらに繊維の断面形状の解析については、一本の絹繊維の断面はほぼ不等辺三角形状であり、その断面積と断面完全度の数値を評価に用いている。断面完全度とは、三角形の中の最長辺を直径とする円の面積で実際の繊維断面積の値を割り、%で表した数値で、三角形が扁平なほどその値は小さくなる。

氏はこの数値が出土繊維の時代と地域によって変動することを多数の調査例から示し、さらに絹製品の種類、経糸(たていと)と緯糸(よこいと)、蚕の品種、家蚕と野蚕によって異なる値を示すことも明らかにした。

機器分析的手法として、走査電子顕微鏡、X線回折、蛍光X線分析、赤外分析、可視吸光分析なども補助的に用いられているが、現代の進歩した装置による分析とは隔世の感がある。

この四巻からなる膨大な調査研究の成果は、他の誰も為し得なかった日本および東アジア地域の古代染織品に関する総合的な知見の金字塔となっている。広い分野の古代繊維品の総合的な事典としても極めて有用であり、是非、座右の書として備えられることをお勧めしたい。

氏の学識を駆使した古代繊維品の歴史的或いは考古学的考察も極めて興味深いが、今日のように日本中で多数の発掘調査が年中実施されている状況下では、近い将来、さらに氏によって、新しい見解が示されるようになる可能性もある。今後、氏の益々のご健康と研究の進展を祈りたい。

(2000. 1. 18 受理)